



## 2022年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年12月13日

上場会社名 Hamee株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3134 URL <https://hamee.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水島 育大  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経営企画部マネージャー (氏名) 高橋 一平 (TEL) 0465-42-9181  
 四半期報告書提出予定日 2021年12月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年4月期第2四半期の連結業績(2021年5月1日~2021年10月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年4月期第2四半期	5,948	5.8	1,134	14.3	1,202	24.1	943	40.5
2021年4月期第2四半期	5,621	3.8	992	17.8	968	10.4	671	11.5

(注) 包括利益 2022年4月期第2四半期 849百万円(19.2%) 2021年4月期第2四半期 712百万円(48.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年4月期第2四半期	59.40	59.18
2021年4月期第2四半期	42.54	42.16

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年4月期第2四半期	9,975	7,236	71.6
2021年4月期	8,338	6,528	77.1

(参考) 自己資本 2022年4月期第2四半期 7,141百万円 2021年4月期 6,429百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年4月期	—	0.00	—	—	—
2022年4月期(予想)	—	—	—	20.50	20.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年4月期の連結業績予想(2021年5月1日~2022年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	13.2	2,250	3.2	2,248	4.6	1,612	3.6	101.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は年次で業績管理を行っているため、業績予想につきましては通期のみの記載となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年4月期2Q	16,267,200株	2021年4月期	16,255,200株
② 期末自己株式数	2022年4月期2Q	369,481株	2021年4月期	377,523株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年4月期2Q	15,889,462株	2021年4月期2Q	15,794,423株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着きを見せ、緊急事態宣言が解除された事により、実体経済の回復に期待が持てる一方、感染症再拡大の懸念や世界的な半導体不足もあり、引き続き先行き不透明な経済にあります。

こうした状況の下、当社の当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの状況は次のとおりとなりました。

#### ① コマース事業

##### a. 国内事業

当第2四半期連結累計期間における最大の商戦である新型iPhone商戦では、iFace“Reflection”における新色「パールブルー」の発売等市場トレンドを捉えた商品開発を行ったこと、端末発売日に投入する新商品数を最大化したこと、端末発売前後に数多くの新商品プレスを配信し「認知➡送客」を実現したこと、期初計画に則った新シリーズ(Look in Clear, Cardina)を導入したこと、さらに事前に機種ごとの売上・販売予測を見ながら欠品・過剰にならないよう在庫コントロールをしたこと等、昨年と比べ総合的に対応力が大きく上がり、商戦を最大化させることができました。

小売：iFaceはブランド力(認知度・リピート率)の高さから指名買いを受け、競合と比較しても好調に推移しており、市場内での存在感をさらに高めています。

卸売：継続的なキャリア向け販売実績により、新たなキャリア販路での販売拡大に繋がり売上が大きく伸びることができました。

##### b. 海外事業

海外事業の中心である米国において、EC販売に関する組織力強化により、音楽玩具におけるEC販売が引き続き好調に推移したことに加え、再開する同国経済活動の影響によりリテラーからの注文が増加しました。また、商品企画の組織力も強化できたことにより、ローカライズアイテムの開発が進みました。なかでも、低反発雑貨はキャラクター展開を強化したことが多くの消費者に支持されたことに加え、iFaceも低反発雑貨に合わせたキャラクター展開を行うことにより売上が伸びることができました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間において、小売については前年同四半期比15.0%増、卸売については前年同四半期比209.7%増と大幅に伸長しました。

これらの結果、コマース事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は4,486,877千円(前年同四半期比1.4%増)、セグメント利益(営業利益)は1,178,699千円(同3.7%減)となりました。

#### ② プラットフォーム事業

##### a. ネクストエンジン

ネクストエンジンは2008年のサービス開始以来、自社ネットショップ運営の強みを活かした機能開発によって、ECバックオフィスの業務効率化・自動化を追求してきました。2013年には公開したAPIによりプラットフォーム化を実現し、2018年からはさらなる事業成長に向けてネクストエンジンの運営リソースをより重要なカスタマーサクセス活動へシフトさせるべく、コールセンターのBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)へ先行投資し、現在ではインハウスでのコールセンター運営以上の対応品質を提供するまでに至っております。その結果、総契約社数は2021年9月時点で5,000社を突破し、当第2四半期末では5,093社(前年同四半期比17.1%増)まで成長することができました。また、当第2四半期連結会計期間において、ネクストエンジン顧客におけるGMV(受注処理金額)は2,685億円(前年同四半期比28.8%増)、顧客単価は35,141円(前年同四半期比0.7%増)と新型コロナウイルス感染症拡大前と比べて高い水準を維持しております。以上の結果から、売上高は552,213千円(前年同四半期比20.1%増)となりました。コスト面では、クラウドインフラ化への投資を推進しており、サーバーコストが前年同四半期比12,137千円増と一時的に増加したこと等による固定費用の増加に伴い、営業利益率の伸びは緩やかになったものの、前年同四半期比21.3%増と着実に増収増益となりました。期初に計画していたHameeコンサルティング株式会社による設定代行も当四半期よりスタートしており、今後同社とのクロスセルを一層強化し、シナジーを追求していきます。

## b. Hameeコンサルティング株式会社

EC事業者向け販売支援コンサルティングを提供するHameeコンサルティング株式会社について、大口顧客からのコンサルティングによる売上を引き続き拡大し、大きく収益を伸ばすことができました。また、ECサイトの運営代行や制作・リニューアルの受注も増加していることから、2021年11月より新しく専門部署を設立し、新たな事業の柱とするべく取り組んでいきます。

これらの結果、プラットフォーム事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,323,078千円(前年同四半期比21.7%増)、セグメント利益(営業利益)は545,156千円(同20.4%増)となりました。

## ③ その他

「その他」には、ふるさと納税支援サービス、小学生向け見守りモバイル端末「Hamic POCKET (はみつくポケット)」、エシカルネットショップ「RUKAMO」等が含まれております。

ふるさと納税支援サービスについては、自治体のポータルサイトのコンバージョンや改修、広告製作等のフロントサイドに関するニーズに対してサービスを拡張しており、当第2四半期連結会計期間における寄付額は前年同四半期比53.4%増と取扱を大きく伸ばしています。引き続き、当社のEC運営の強みを活かしながら、ネクストエンジンの活用による業務効率化を合わせた事業拡大を目指します。

「Hamic POCKET (はみつくポケット)」につきましても、従来品より充電機能を大幅に改善した「Hamic POCKET L」のリリースを予定しております。今後もユーザーとのコミュニケーションを深めながら課題検証を進め、PMF達成を目指してまいります。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は138,501千円(前年同四半期比26.5%増)となりました。一方セグメント損益(営業損益)は、151,325千円の損失(前年同四半期は168,467千円の損失)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,948,457千円(前年同四半期比5.8%増)、営業利益は1,134,415千円(同14.3%増)、経常利益は1,202,276千円(同24.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は943,795千円(同40.5%増)となりました。

なお、会計方針の変更として、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ1,636,837千円増加し、9,975,591千円となりました。これは主に、売上高の増加等により受取手形及び売掛金が268,785千円増加したこと、前渡金の増加等によりその他流動資産が599,608千円増加したこと、Hamee Global Inc. のオフィス移転により建物及び構築物が359,805千円並びに土地が309,623千円増加したこと等の結果によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ928,126千円増加し、2,738,827千円となりました。これは主に、短期借入金が増加した887,822千円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ708,711千円増加し、7,236,764千円となりました。これは主に、繰越利益剰余金の増加により利益剰余金が784,876千円増加したこと及び為替換算調整勘定が94,157千円減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ51,034千円増加し、3,405,651千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は58,385千円(前年同四半期は181,545千円の収入)でありました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,345,691千円等の収入要因に対し、関係会社株式売却益172,307千円、売上債権の増加281,865千円、棚卸資産の増加288,794千円、前渡金の増加344,312千円、法人税等の支払額478,782千円等の支出要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は578,203千円(前年同四半期は155,100千円の支出)でありました。これは主に、関係会社株式の売却による収入182,354千円等の収入要因に対し、有形固定資産の取得637,318千円、無形固定資産の取得90,122千円等の支出要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は722,080千円(前年同四半期は130,419千円の支出)でありました。これは主に、短期借入金の増加900,000千円、配当金の支払い158,776千円等の要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年6月14日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,354,616	3,405,651
受取手形及び売掛金	1,590,162	1,858,947
商品	962,612	1,232,691
仕掛品	4,674	8,094
原材料及び貯蔵品	5,800	13,704
その他	571,999	1,171,608
貸倒引当金	△33,133	△39,358
流動資産合計	6,456,733	7,651,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	208,420	568,225
減価償却累計額	△60,667	△65,570
建物及び構築物(純額)	147,753	502,655
車両運搬具	—	2,216
減価償却累計額	—	△166
車両運搬具(純額)	—	2,049
工具、器具及び備品	638,447	788,879
減価償却累計額	△501,983	△564,174
工具、器具及び備品(純額)	136,464	224,705
土地	—	309,623
建設仮勘定	334,921	107,781
有形固定資産合計	619,139	1,146,816
無形固定資産		
のれん	340,255	232,323
ソフトウェア	235,794	250,710
商標権	14,002	12,378
その他	13,720	15,104
無形固定資産合計	603,772	510,516
投資その他の資産		
投資有価証券	34,407	48,750
関係会社株式	46,749	26,108
退職給付に係る資産	15,197	3,186
繰延税金資産	417,860	453,913
その他	150,945	134,959
貸倒引当金	△6,052	—
投資その他の資産合計	659,108	666,919
固定資産合計	1,882,020	2,324,251
資産合計	8,338,753	9,975,591

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	208,741	240,603
短期借入金	12,177	900,000
1年内返済予定の長期借入金	48,036	48,036
未払金	729,990	769,504
未払費用	185,142	212,374
未払法人税等	478,607	451,563
賞与引当金	51,096	19,064
返品調整引当金	6,938	—
ポイント引当金	217	—
その他	25,114	67,173
流動負債合計	1,746,062	2,708,319
固定負債		
長期借入金	43,853	19,835
その他	20,785	10,673
固定負債合計	64,638	30,508
負債合計	1,810,701	2,738,827
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	594,043	597,785
資本剰余金	532,785	541,735
利益剰余金	5,612,726	6,397,603
自己株式	△363,636	△355,929
株主資本合計	6,375,918	7,181,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	108
為替換算調整勘定	54,009	△40,147
その他の包括利益累計額合計	54,009	△40,038
新株予約権	98,124	95,608
純資産合計	6,528,052	7,236,764
負債純資産合計	8,338,753	9,975,591



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)
売上高	5,621,882	5,948,457
売上原価	2,155,876	2,046,856
売上総利益	3,466,006	3,901,601
返品調整引当金戻入額	6,716	—
返品調整引当金繰入額	3,986	—
差引売上総利益	3,468,736	3,901,601
販売費及び一般管理費	2,475,911	2,767,185
営業利益	992,825	1,134,415
営業外収益		
受取利息	384	730
持分法による投資利益	1,529	—
為替差益	—	43,924
その他	8,181	29,157
営業外収益合計	10,094	73,812
営業外費用		
支払利息	5,229	76
支払保証料	2,749	3,395
持分法による投資損失	—	736
為替差損	17,162	—
その他	8,857	1,742
営業外費用合計	33,999	5,951
経常利益	968,920	1,202,276
特別利益		
固定資産売却益	370	28
投資有価証券売却益	4,999	—
関係会社株式売却益	—	172,307
新株予約権戻入益	1,258	—
特別利益合計	6,628	172,336
特別損失		
固定資産除却損	—	1,309
投資有価証券評価損	10,164	27,611
為替換算調整勘定取崩損	868	—
特別損失合計	11,032	28,921
税金等調整前四半期純利益	964,515	1,345,691
法人税、住民税及び事業税	364,888	441,093
法人税等調整額	△72,275	△39,196
法人税等合計	292,613	401,896
四半期純利益	671,902	943,795
親会社株主に帰属する四半期純利益	671,902	943,795

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)
四半期純利益	671,902	943,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	108
為替換算調整勘定	40,959	△94,157
その他の包括利益合計	40,959	△94,048
四半期包括利益	712,862	849,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	712,862	849,746
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	964,515	1,345,691
減価償却費	140,957	169,603
のれん償却額	96,604	102,373
有形固定資産除却損	—	1,309
有形固定資産売却損益(△は益)	△370	△28
関係会社株式売却益	—	△172,307
投資有価証券評価損益(△は益)	10,164	27,611
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,999	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,929	846
ポイント引当金の増減額(△は減少)	215	△217
賞与引当金の増減額(△は減少)	219	△31,024
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△2,730	△6,938
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,367	—
退職給付に係る資産・負債の増減額	—	11,760
受取利息及び受取配当金	△384	△730
支払利息	5,229	76
持分法による投資損益(△は益)	△1,529	736
為替差損益(△は益)	917	△469
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損	868	—
売上債権の増減額(△は増加)	△589,232	△281,865
棚卸資産の増減額(△は増加)	24,775	△288,794
返品資産の増減額(△は増加)	—	△17,773
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,065	36,864
前渡金の増減額(△は増加)	△61,611	△344,312
預け金の増減額(△は増加)	687	△8,679
未払金の増減額(△は減少)	15,972	111,152
未払費用の増減額(△は減少)	29,115	28,070
返金負債の増減額(△は減少)	—	28,269
その他	△40,166	△290,999
小計	607,450	420,224
利息及び配当金の受取額	384	730
利息の支払額	△5,019	△557
法人税等の支払額	△421,268	△478,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	181,545	△58,385
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△91,350	△637,318
有形固定資産の売却による収入	370	267
無形固定資産の取得による支出	△57,683	△90,122
投資有価証券の取得による支出	△14,250	△36,065
投資有価証券の売却による収入	5,000	—
関係会社株式の売却による収入	—	182,354
その他	2,812	2,679
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,100	△578,203
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	11,694	900,000
長期借入金の返済による支出	△24,018	△24,018
株式の発行による収入	57,561	4,968
自己株式の取得による支出	△65,116	△93
配当金の支払額	△110,541	△158,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,419	722,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,269	△34,457
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△90,704	51,034
現金及び現金同等物の期首残高	3,453,297	3,354,616
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,362,592	3,405,651

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間において、シッピーノ株式会社の株式の一部を売却し、持分法適用の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、従来は、営業外費用に計上していた売上割引については、売上高から減額しております。また、「コマース事業」において、売上総利益相当額に基づいて「流動負債」に計上していた「返品調整引当金」については、返品されると見込まれる商品の収益及び売上原価相当額を除いた額を収益及び売上原価として認識する方法に変更しており、返品されると見込まれる商品の対価を返金負債として流動負債の「その他」に、返金負債の決済時に顧客から商品を回収する権利として認識した資産を返品資産として流動資産の「その他」に含めて表示しております。

これまで顧客に付与した自社ポイントについて、未利用分を「ポイント引当金」として計上しておりましたが、当該ポイントの金額的重要性が軽微であるため、別個の履行義務を識別しない方法に変更しております。

なお、「コマース事業」においては「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取り扱いを適用し、商品の国内販売において、出荷時から当該商品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,381千円減少し、売上原価は2,151千円減少し、営業利益は3,230千円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ917千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は1,826千円減少しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマー ス 事業	プラッ ト フォ ーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,425,659	1,086,745	5,512,404	109,477	5,621,882	—	5,621,882
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	658	658	—	658	△658	—
計	4,425,659	1,087,403	5,513,062	109,477	5,622,540	△658	5,621,882
セグメント利益又は損失(△)	1,223,658	452,685	1,676,344	△168,467	1,507,877	△515,052	992,825

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ふるさと納税支援サービス、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△515,052千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマー ス 事業	プラッ ト フォ ーム 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	4,486,877	1,323,078	5,809,955	138,501	5,948,457	—	5,948,457
外部顧客への売上高	4,486,877	1,323,078	5,809,955	138,501	5,948,457	—	5,948,457
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,486,877	1,323,078	5,809,955	138,501	5,948,457	—	5,948,457
セグメント利益又は損失(△)	1,178,699	545,156	1,723,855	△151,325	1,572,530	△438,114	1,134,415

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ふるさと納税支援サービス、小学生向け見守りモバイル端末「Hamic POCKET (はみっくポケット)」、エシカルネットショップ「RUKAMO」等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△438,114千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「コマース事業」の売上高は5,599千円減少、セグメント利益は3,447千円減少し、「その他」の売上高は217千円増加、セグメント利益は217千円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。